

四国から世界へ挑戦する若手経営者が国の地方機関のトップへ語る
「幹部行政官セミナー」を開催
 ～幹部公務員に求められることを考える～

平成28年2月8日
 人事院四国事務局

時代の変化を踏まえた公務の人材育成に取り組む人事院四国事務局は、四国を管轄する国の地方機関の長を対象に、これからの行政と行政官の在り方を基本に立ち返って考え、意識改革を図る機会を提供するため「四国地区幹部行政官セミナー」を開催します。

第1部では、2004年、大学院在学中に株式会社未来機械を起業した三宅徹社長をお招きして、四国から生まれたベンチャー企業が、中東諸国で認められるために、どのような挑戦を続けているのか御講演いただきます。



セミナー第1部 講演の様子

株式会社未来機械は、高松市に開発・製造拠点を置く香川大学発のロボットベンチャー企業で、中東諸国の広大な砂漠地帯に広がるソーラーパネル上に積もった砂塵を、水を使わずかつ自走式で清掃できるロボットを開発し、四国の大学ベンチャーとしては初めてベンチャーキャピタルからの本格的な投資を受け、2016年上期に量産化のめどをつけました。

第2部では、三宅徹社長との意見交換を設け、幹部公務員として求められることなどを振り返る機会となることを期待しています。

日時	平成28年2月16日（火）14：30～17：15
講師	株式会社未来機械 代表取締役社長 <small>みやけ とおる</small> 三宅 徹 氏
次第	第1部 講演（14：30～） 「四国から世界市場に挑戦する ～大学発ロボットベンチャー企業：未来機械の取組み～」 第2部 意見交換（16：00～）
参加者	別添のとおり
会場	高松センタービル（高松市寿町2-4-20）5階501号室



三宅 徹 氏

問合せ先	人事院四国事務局 総務課長 安藤昭一 電話：087-831-5801 総務課研修係長 大村順子
------	--

第1部（講演）については、報道機関の皆様に公開いたします。
取材をお願いできる場合は、記者席を御用意いたしますので、開催前日までに御連絡いただくようお願いいたします。